



道

2020年4月15日
(第56号)

〈道〉三月号で、NHKラジオ「すっぴん」終了について「NHKは何ということをしてくれるのだ」と書きました。これを取り消します。NHKは素晴らしいラジオ番組を用意していました。「高橋源一郎の飛ぶ教室」です。

▼その第一回のテーマのひとつが「おじさん」でした。「父」でも「兄」でもない、「おじさん」的な存在が今の時代に必要だと、「おじさん」の源一郎さんと音楽家・菊地成孔さんが意気投合します。▼「おじさん」は世の常識にとらわれない。主流に距離を置く。不真面目なところがある。「おじさん」は時代の動きに敏感。言いたいことをはっきり言う。筋を通す。「おじさん」は聞いてくれる。権威をおしつけない。「おじさん」はぶらぶらしている。人生を楽しんでいるように見える。大人になりきれていない。頼りになる。(僕の勝手な思い込みも含む)。

▼僕も「おじさん」に憧れました。母の弟。叔父が好きだと言うので巨人ファンになり、プレスリーなど「洋楽」を聞くようになったのもその影響です。オートバイで訪ねてくる叔父をいつも待っていた。乗ってきた車を運転させてとせがんだことも。叔父は優しくかつたし、違う何かを持っていました。▼みなさん。毎週金曜、午後九時五分、「高橋源一郎の飛ぶ教室」。おすすめです。

〒710-1301

岡山県倉敷市真備町箭田 5188

TEL. 090-5366-1497

MAIL michi-care@outlook.jp

H.P. <https://michi-care.jimdo.com/>

林 道 也

※ NHK「らじる★らじる」の「聴き逃し」サービスも便利です。

※『飛ぶ教室』は、1933年、ドイツでナチスが政権を取った年に出版された。高橋源一郎さんが惚れ込んだ本。作者のケストナーは、ナチスによって自分の本が燃やされる現場をわざわざ見に行ったというエピソードがある。

